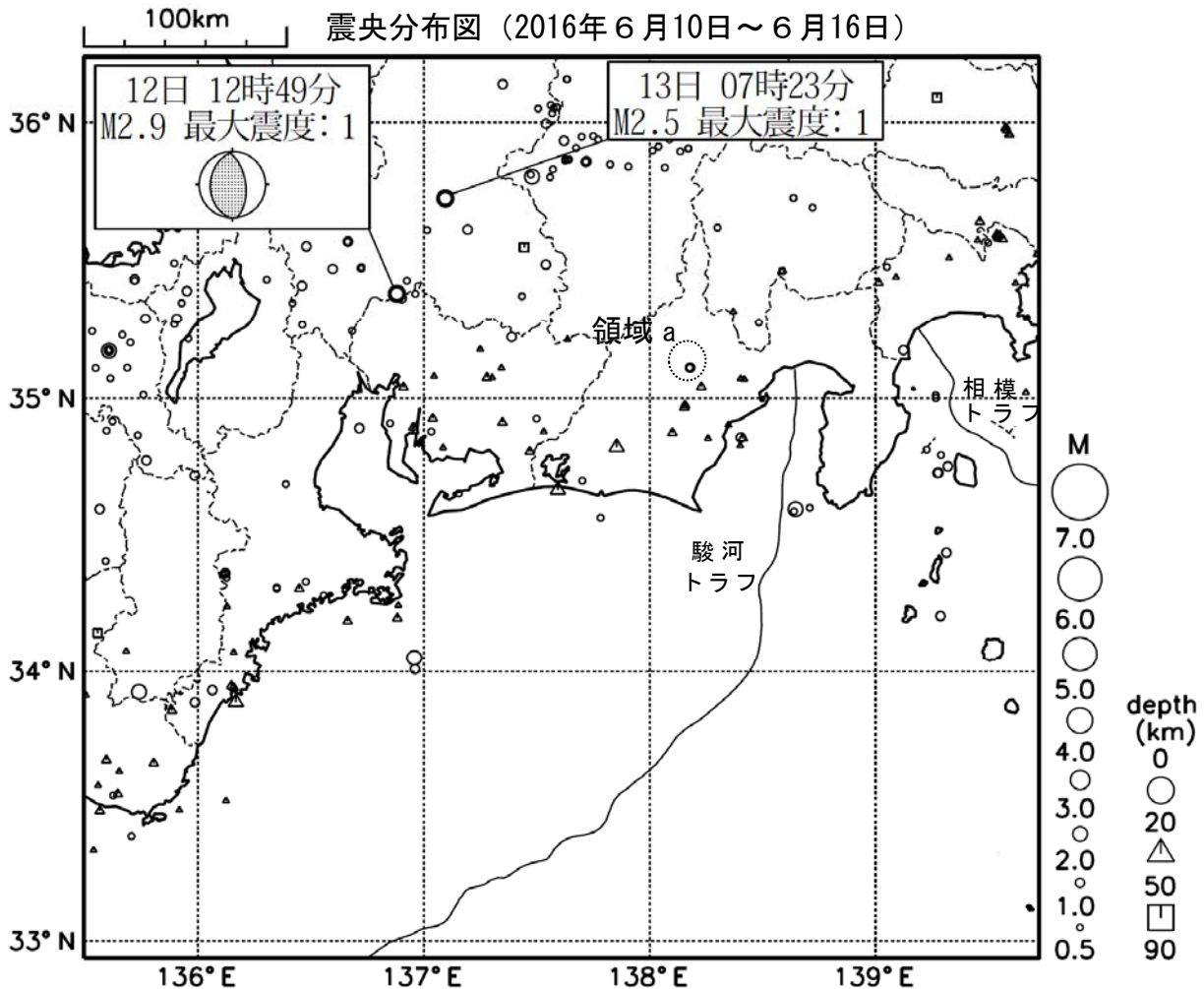


東海地域の週間地震活動概況 No. 25

*震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがある。



“震度1以上を観測した地震”、“東海地域でM3.0以上、その他の地域でM4.0以上の地震”及び“その他注目した地震”に「震源時、マグニチュード、最大震度」を付している（震源の深さ0～90km）。

【概況】

特に目立った活動はなかった。なお、平成25年はじめ頃から浜名湖付近のプレート境界で発生している「長期的ゆっくりすべり」は継続している*。

【東海地域】

【地震活動】

- ・2月7日以降にまとまった地震活動がみられている静岡県中部（領域 a）では、今期間は10日、15日に活動がみられた（右図参照）。
- ・12日12時49分に愛知県西部の深さ16kmでM2.9の地震（最大震度1）が発生した。この地震は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で地殻内で発生したものである。

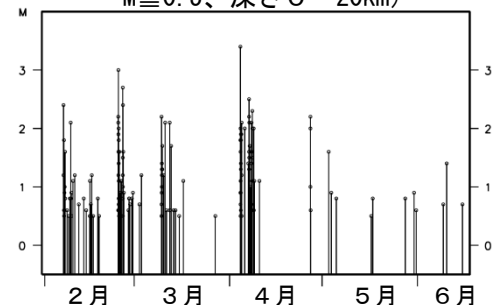
【深部低周波地震活動】

- ・特に目立った活動はなかった。

【その他の地域】

- ・特に目立った活動はなかった。

領域 a 内のM-T図
(2016年2月1日～6月16日、
M≥0.5、深さ0～20km)



※上の震央分布図には、震源決定精度が高い地震の震央のみ表示している。このため、震源決定精度が低い深部低周波地震の震央は表示されない。

国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、青森県、東京都、静岡県及び神奈川県温泉地学研究所、気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震緊急観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、IRISの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

*平成28年5月地震防災対策強化地域判定会会長会見資料（<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/gaikyo/hantei20160530/mate01.pdf>）参照